履歴書

(しばた さとる)

【氏名】 柴田 怜 (男)

【生年月日】1991年6月27日生(満29歳)

【現住所】〒250-0858

神奈川県小田原市小台 19-1

TEL 080-6708-5390(スマートフォン)

E-mail <u>satorushibatad4dr@gmail.com</u> (PC/スマートフォン)



年	月	学 歴					
2011	4	法政大学 経済学部経済学科 入学					
2015	3	法政大学 経済学部経済学科 卒業					
		学士(経済学)					
		卒業論文					
		『環境税の導入が及ぼす環境・経済・社会影響の実証分析:					
		産業連関分析・LCA と応用一般均衡モデル』					
2015	4	上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 進学					
2017	3	上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 修了					
		修士(環境学)					
		修士論文					
		『エネルギー改革策が及ぼした環境・経済・社会的影響:					
		日独英仏国の実証分析と国際比較』					
		分析手法: 対数線形重回帰分析、主成分分析、分散分析、偏微分、重積分、グラフ描画					
		Total GPA3.74/4.00(93.5%)					

年	月	職 歴			
2017~2020	4~7	『株式会社セラク』 Data Scientist			
2020~2021	9~2	『株式会社 EDIX』 Lead Data Scientist(常駐先における技術顧問)			

【志望理由】

私は、データサイエンティストとして計 3 年以上の開発経験(Python3/R/SQL 等)と併せ、常駐先のプロジェクト・マネージャーの下、データサイエンスに係る技術顧問を務めるとともに、現職におけるデータサイエンティスト職の採用面接補佐官を担いました。

これらの業務経験を活かし、更なるキャリアアップを図りたく、データサイエンスに係る PM 又は技術顧問等に就くことを目的として応募させて頂きます。

尚、2021 年 2 月 28 日付の退職届を提出し、正式に受理されました。 つきましては、現職の雇用契約上、2021 年 3 月 1 日から就業可能です。 ご了承ください。

【開発経験から学んだこと】

- 工程毎に顧客の要求項目・納期を明確化し、メール等によってエビデンスを取ってから、具体的に作業する重要性を再認識致しました。
- 作業前に計画を立て、その手順を確認・共有することの重要性を再認識致しました。
- 何事についても齟齬を起こさないように報連相を欠かさず、迷ったら、確認を取ることを心がけております
- コーディングを行う際は、必ず設計を行い、ロジックを立ててから行うことで、デバッグ処理を短縮するよう心掛けております。

【称号·受賞·資格】

- 1. <u>Kaggle 3 Experts</u> (2021 年 3 月)
 - Code Highest Rank: Top < 0.2% (317/161898)
 - Code Solo 3 Silver + 13 Bronze Medals
 - Discussion Highest Rank: Top 0.3% (572/188433)
 - Discussion Solo 103 Bronze Medals
 - Datasets Highlight Rank: Top 10% (354/3463)
 - Datasets Solo 3 Bronze Medals
- 2. 統計科学研究所統計データ分析士 2級 (第1212号 2017年2月28日)
- 3. <u>UiPath Academy RPA Developer Foundation</u> (2019年4月)

【テクニカルスキル】

- 言語: Python3/R(GitHub を含む)
- IDE: Jupyter Notebook/RStudio
- DB: BigQuery/Redshift SQL/ MySQL
- 機械学習(LightGBM、XGBoost、t-SNE、k-means、密度準拠クラスタリング、主成分分析等)
- 計量時系列分析(多変量 SV モデル、偏グレンジャー因果性検定、単位根検定、共和分検定等)
- 統計解析(統計的有意差検定、一般化線形モデル、構造方程式モデリング、パネルデータ分析等)
- 動学的応用一般均衡モデル、産業連関分析、Life Cycle Assessment)

1. Kaggle の成績表(要旨)

Competitions	Top	Teams	Notebooks
Predicting Molecular Properties	21%	553/1636	
ALASKA2 Image Steganalysis	25%	272/1095	
M5 Forecasting - Uncertainty	26%	237/912	
TReNDS Neuroimaging	32%	336/1051	
OpenVaccine: COVID-19 mRNA Vaccine Degradation Prediction	33%	532/1636	1 Bronze Medal
Riiid Answer Correctness Prediction	34%	1133/3406	3 Bronze Medals
Jane Street Market Prediction			3 Silver + 6 Bronze Medals
Lyft Motion Prediction for Autonomous Vehicles		_	1 Bronze Medal
HuBMAP - Hacking the Kidney			1 Bronze Medal
Rainforest Connection Species Audio Detection			1 Bronze Medal

2. 公益財団法人みずほ学術振興財団第61回懸賞論文【経済の部】「ESG 投資について考える」

『エネルギー・気候変動と日本経済における 2050 年問題に向けた動的マクロ計量モデルに基づく ESG 投資の利用:

非線形パネル VAR-SPDE-LSTM モデル(精度評価付き)の開発』

- 開発資料(R による実行結果)・発表資料
- キーワード:

共和分検定、単位根検定、偏グレンジャー因果性検定、非直交化インパルス応答関数、パネル VAR(Vector Auto Regressive)モデル、幾何ブラウン運動、確率偏微分方程式、LSTM(Long Short Term Memory)、多重共線性

【スポーツ】筋力トレーニング(デッドリフト 400kg、ショルダー・プレス 160kg、HIIT)、水泳(4 泳法可能) 【**扶養家族**】 無 【**配偶者**】 無